

酒田の花火

日本唯一
全国二尺玉花火競技大会

8/5 Sat 土
2023

荒天の場合は翌日6日(日)へ順延となります

時間/午後7時30分～9時

場所/最上川河川敷特設会場



題字：
書道家 高田桂帆(酒田市出身)

両羽橋から下流の堤防道路は規制区域となります

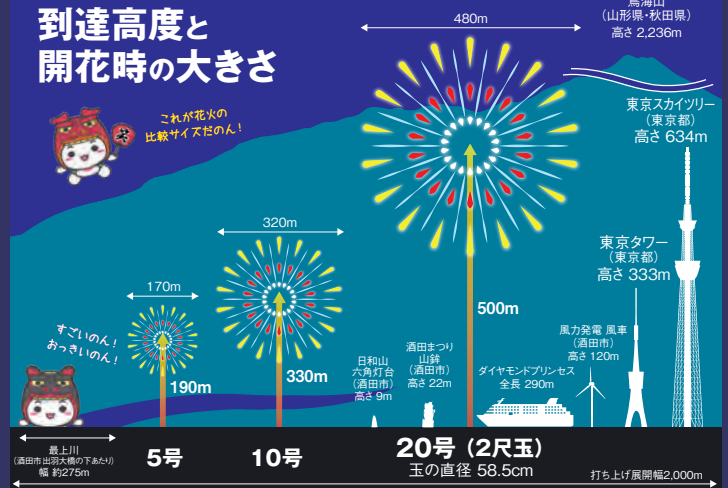
自由観覧エリアでも安全対策のため一部立入が制限される場合があります。
その他会場周辺の規制情報は、詳細が決まり次第、広報、専用ホームページ等でご案内します。



※今年度は、両羽橋から最上川河川公園付近までを観覧会場とし、スワンパーク付近から下流側の河川敷については、チケットを持たない市民も観覧できるようにする予定です。(安全確保のため一部規制有)

①～⑧の観覧席にはチケットをお持ちでない方は会場への入場はできません。

花火が開く大きさはどれ位？
到達高度と
開花時の大きさ



観覧席について

- ・会場内①～⑧は全席指定で チケット発売中
- ・チケットぴあ(インターネット販売)、セブンイレブン各店舗でご購入可能
- ・未就学児はマスメディア員に加えて2人まで、B・Dエリアは1人のみチケット無しで一緒に観覧可能です

会場内禁止事項

- 喫煙所あり
- ペットの同伴禁止
- ドローン禁止

酒田エフエム放送ハーバーラジオで酒田の花火を生放送いたします。スマートフォンからも聴くことができます。ハーバーラジオHPにアクセスしてください。
酒田エフエム放送 Tel21-3788

チケットの購入はこちら
<https://sakata-hanabi.com>



観覧席料金表

席種/料金	概要	席種/料金	概要
①Sマス席 20,000円/席	・マス席(定員4名まで) ・広さ200cm×200cm ・観覧用シート180cm×180cm1枚付	⑤Dエリア席(土手) 5,000円/席	・1人あたりの金額 ・エリア内は自由で、入場順にご案内
②Aマス席 18,000円/席	・マス席(定員4名まで) ・広さ200cm×200cm ・観覧用シート180cm×180cm1枚付	⑥カメラマン席 6,000円/席	・1人あたりの金額 ・土手の上側のエリアで、1人あたり 横幅170cm毎に区切った席
③P席(ヘアイス席) 16,000円/席	・イス席(定員2名) ・イス脚とテーブル1台のセット	⑦Bエリア席 6,000円/席	・1人あたりの金額 ・エリア内は自由で、入場順にご案内
④C席(2人席) 14,000円/席	・イス席(定員2名) ・1脚2人座り、テーブルなし	⑧車イス席 3,500円/席	・会場内舗装面(指定か所) ・補助者分も販売対象

- 観覧会場内は、市民ボランティア席以外、原則有料観覧席で全席指定とし、入場にはチケットが必要です。
- 観覧会場となる最上川河川公園付近以外、出羽大橋付近の河川敷・土手のり面は会場外となります。
- 未就学児について、マス席は定員に加えて2人まで、B・Dエリア席は1人に対し1人まで同席で入場できます。
- 子どもの人数が多くなる場合は1マスの広さを参考に、複数席の購入をお願いします。

花火には どんな種類があるの？



花火大会で見られる花火は、「打ち上げ花火」と「仕掛け花火」に大きく分けられます。
打ち上げ花火には、星が球形に開く「割物」、花火玉が上空で2つに割れて中の星を放出する「ポカ物」、多数の小さな花火が一斉に開く「小割物」などがあります。特に、夜空に大きく丸い花火を咲かせる「菊」や「牡丹」といった割物は、日本を代表する伝統的な花火です。割物の中でも、子どもたちに人気の動物やキャラクターなどを象った花火は「型物」と呼ばれ、さまざまなバリエーションがあります。

1929(昭和4)年、第一回「酒田川開き花火大会」で最上川中洲より2尺玉花火が打ち上げられた、という記録が残っています。玉の直径58.5cm、玉の重量70kg、打ち上げ到達高度500m、花火の大きさ約480mの大輪の花。10発以上の2尺玉が酒田の夏の夜空を彩ります。

一方、**仕掛け花火**には、たくさんの花火を連続して打ち上げる「スターメイン」でおなじみの「打ち出し物」、等間隔に並べたパイプから火の粉が滝のように流れ落ちる「ナイアガラ」といった「張物」、花火の推進力で風車のように回る「回転物」など、変化に富んだプログラムが分類されています。

花火にはこの他にもさまざまな種類があり、特徴によって細分化されて「菊」「万華鏡」「千輪」などそれぞれに名前がついています。花火の種類を知っていると、見慣れている花火大会も、いつもと違った見方ができるかも!ご興味のある方は、ぜひ調べてみてはいかがでしょうか?



いろいろな種類の花火が酒田の夜を彩ります!

代表的な花火



きく
菊

「引」とも呼ばれ、星が尾を引いて菊のように丸く開く。「変化菊」や「八重菊」など多くの種類あり。



かむろぎく
冠菊

「菊」の一種。星がゆっくり下へ垂れてくる。一般的には金色だが「錦冠菊」「銀冠菊」も代表的。



せんりん
千輪

上空で音がして、少し遅れて一斉にいくつもの花が咲くもの。導火線の長さで時間差が生まれる。



やし
椰子

太い花弁を椰子の葉のように開かせるもの。「バームクーヘン」とも呼ばれ、日本から世界中に広まった。



かたもの
型物

UFOや星型など何かの形を真似たもの。花火師たちの工夫・努力で近年はキャラクターものも急増。



スター
メイン

打ち上げ方法のひとつ。いくつもの花火玉を数百本にも及ぶ筒に装填し、速射連発で打ち上げる。